

2017年 6月2日(金)
10:00 ~ 16:50

会場 筑波大学 筑波キャンパス
情報メディアユニオン

主催 筑波大学 人工知能科学センター

後援 科学技術振興機構 (JST)
筑波大学 知的コミュニティ基盤研究センター

プログラム

- | | |
|-------|---|
| 9:30 | 受付開始 |
| 10:00 | 開会挨拶 |
| 10:10 | 櫻井 鉄也 (筑波大学 人工知能科学センター長) |
| 10:10 | 招待講演 |
| 11:10 | 「Thoughts on Fairness and Transparency in Crowdsourcing」
Sihem Amer-Yahia (CNRS/LIG, France) |
| 11:10 | 「個人のための AI : 個別化医療とプライバシー保護」 |
| 11:35 | 佐久間 淳 (プロジェクト 1 代表) |
| 11:35 | 「集団のための AI : CyborgCrowd におけるクラウドソーシングと AI の融合」 |
| 12:00 | 森嶋 厚行 (プロジェクト 2 代表) |
| 12:00 | 「社会のための AI : 人々の社会的行動を明らかにするソーシャル・イメージング」 |
| 12:25 | 鈴木 健嗣 (プロジェクト 3 代表) |
| 12:25 | 昼休み |
| 14:00 | 招待講演 |
| 15:00 | 「AI とプライバシー・個人情報保護に関する法的論点」 石井 夏生利 (筑波大学) |
| 15:00 | 休憩/ポスター & デモ |
| 16:00 | パネル |
| 16:40 | 人々と AI の良い関係とは ?! |
| 16:40 | 閉会挨拶 |
| 16:50 | 木越 英夫 (筑波大学 研究担当副学長) |



Sihem Amer-Yahia 石井 夏生利



佐久間 淳 森嶋 厚行 鈴木 健嗣

人工知能や IoT 技術の発展は、人々と機械との関係の再考を求めています。

人工知能は、人と対決するものではなく、人を支援し、人と協力するものでなくてはなりません。本シンポジウムでは、個人・集団・社会と人工知能の関わりを対象とした3つの JST CREST プロジェクトにおける最先端の取り組みを紹介し、人工知能によるデータ利用からのプライバシー保護、クラウド (群衆) と人工知能が協力した問題解決、人工知能とIoTがもたらす人の社会的行動への影響の3つの視点から、未来における人と人工知能のより良い関係を議論します。

参加費
無料



参加申し込み・お問い合わせ先
ai-symp0602@ml.cc.tsukuba.ac.jp

参加申し込み

メールにお名前とご所属を記載し、件名を「AI シンポ参加」として右記のアドレスあてにお送りください。学生や一般の方の参加も歓迎いたします。お問い合わせもメールにてお受けいたします。

人と人工知能のより良い未来

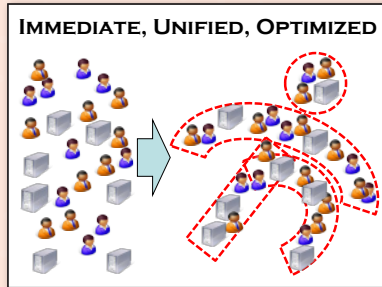
個人・集団・社会のための AI

人と人工知能の より良い未来を目指す 3つのプロジェクト

集団のためのAI

プロジェクト 2

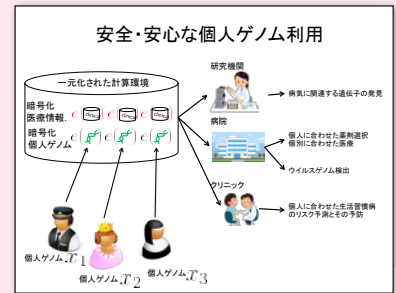
迅速に、群衆と AI による作業を組み合わせた最適なソリューションを実現するための理論と汎用技術を研究しています



個人のためのAI

プロジェクト 1

個人の医療データやゲノムデータを組み合わせ、医療や研究に安全かつ便利に利用できるようにするための、基盤技術と応用技術を研究しています



社会のためのAI

プロジェクト 3

人々の社会的行動や関係性を顕在化し明示する人工知能技術を研究しています



プロジェクト

1

自己情報コントロール機構を持つプライバシー保護データ収集・解析基盤の構築と個別化医療・ゲノム疫学への展開⁺

代表者：佐久間 淳（筑波大学 システム情報系 教授）

主たる研究機関：筑波大学 東京大学 名古屋工業大学 三重大学

個人情報とは個人化されたサービスを生み出す源泉になりますが、プライバシーへの配慮が重要です。特に、一度自分の手元を離れると、自分のデータがどう流通し、どう利用されるのかをコントロールすることができないという不安があります。本研究では、高度なデータ解析技術と暗号技術を組み合わせ、個人情報を公にせず暗号化したままデータ収集・解析が可能な計算基盤を構築します。

プロジェクト

2

CyborgCrowd：柔軟でスケーラブルな人と機械の知力集約⁺⁺

代表者：森嶋 厚行（筑波大学 図書館情報メディア系 教授）

主たる研究機関：筑波大学 静岡大学 京都大学

クラウドソーシングによる情報処理、計算機による情報処理、それらのハイブリッド処理を、その時点で利用可能な人資源やアルゴリズム資源に応じて柔軟に組合せ、切り替えることができる世界を実現するミドルウェアに関わる理論と構築の研究を推進します。自然災害領域をはじめとする様々な応用領域において実証研究を行い、柔軟でスケーラブルな人と計算機の知の集約基盤の確立を目指します。

プロジェクト

3

ソーシャル・イメージング：創造的活動促進と社会性形成支援⁺⁺

代表者：鈴木 健嗣（筑波大学 システム情報系 教授）

主たる研究機関：筑波大学 慶應義塾大学

複数人からなる社会的行動を計測する手法であるソーシャル・イメージング基盤技術の確立を目指します。ここでは、身に付けたり着用できる機器や、実世界に映像と音響を重ね合わせる技術を応用することで、子ども達の創造的活動を促進し、社会性形成を支援する場としての「ミライの体育館」を構築します。また、特別支援学校や NPO 法人と連携しながら自閉症児等の療育支援のための実証研究を通じ、情動・情緒を含むこころを支える情報学を開拓します。

ACCESS

筑波大学 筑波キャンパス
春日エリア
情報メディアユニオン 2F

〒305-8550
茨城県つくば市春日 1-2

つくばエクスプレス
つくば駅より徒歩 10 分



⁺JST CREST ビッグデータ統合利活用のための次世代基盤技術の創出・体系化
(研究総括:喜連川優(東京大学/国立情報学研究所 所長))

⁺⁺JST CREST 人間と調和した創造的協働を実現する知的情報処理システムの構築
(研究総括:萩田紀博(ATR 知能ロボティクス研究所 所長))